

日本熱測定学会 14 回通常総会

日 時 昭和62年10月13日

会 場 広島大学総合科学部(第23回熱測定討論会会場)

1. 総会の成立

総会出席者は委任状(312通)を含めて357名,正会員総数(737名)の1/4を超えるので第14回通常総会は会則第17条により成立した。

2. 議 題

- 1) 昭和62年度事業報告承認の件
- 2) 昭和62年度収支決算承認の件
- 3) 昭和63年度役員の件
- 4) 昭和63年度事業計画決議の件
- 5) 昭和63年度収支予算決議の件

1. 昭和62年度事業報告(61.10.1~62.9.30)

① 会員現況 ()内は維持会員口数

	61.10.1	入会者	退会者	62.9.30
正会員	704	57	24	737
維持会員	33(64)	1(1)	1(1)	33(64)

② 集会関係

- 1) 委員会1回(筑波),幹事会4回(筑波1回,東京3回),役付幹事会3回(企画1回,庶務2回(東京)),編集委員会4回(東京),応用熱測定研究グループ会合1回(筑波),熱力学データベース作業グループ会合2回(東京)
- 2) 第22回熱測定討論会(第7回熱物性シンポジウムとのJoint Meeting,61.10.22~24,筑波)参加者240名

発表件数	一般発表	77件
	熱物性データベースデモン	
	ストレーション	11件
	特別講演	5件
	パネル討論	1件

- 3) 日中合同熱測定シンポジウム(中国浙江省杭州市浙江大学,61.11.4~7)発表および参加者
中国側 32名 他に列席者 51名
日本側 28 他に同伴者 3名
プログラムは熱測定14巻2号(1987)87頁参照
- 4) 第13回通常総会(61.10.23,筑波)熱測定14巻1号(1987)46頁参照

- 5) 第23回熱測定討論会運営委員会1回(62.7.11,東京)
- 6) 第14回熱測定講習会(初心者のための熱分析の基礎と材料への応用)
(61.12.1~2,機械振興会館(東京))参加者63名
第15回熱測定講習会(初心者のための熱分析の基礎と応用)
(62.6.23~24,京大会館(京都))参加者101名
- 7) 第3回熱測定ワークショップ(DTAとDSCの理論と実際)
(61.12.3,機械振興会館(東京))参加者85名
第4回熱測定ワークショップ(熱分析技法を用いた純度と比熱容量の測定における諸問題)
(62.6.25,京大会館(京都))参加者70名

③ 共催・協賛関係

- 共催:第30回粘土科学討論会(61.10.1~4,東工大)
協賛:第8回熱物性シンポジウム(62.7.22~24,熊本県阿蘇)

④ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行 各号900部
Vol.13, No.4 56 {計本文188頁
Vol.14, No.1~3 132 {別に会告26頁
内容:巻頭言1,論文2,総合論文3,総説4,解説3,展望1,講座1,トピックス2,ニュース1,応用熱測定の頁3,その他レポート,書評など

2) 「熱測定の進歩」第4巻の発行と第5巻の編集

⑤ グループ活動

- 1) 応用熱測定研究グループ(主査:斎藤安俊)
- 2) BCT(Bulletin of Chemical Thermodynamics)情報収集作業グループ(主査:菅 宏)
- 3) 熱力学データベース作業グループ(主査:山内繁)
—パソコン用熱力学データベース—
“MALT”の販売に伴う著作権料を管理するため,熱測定振興会を設ける。また同作業グループのサブグループとして分圧制御ソフト開発グループ(世話人:脇原将孝)が発足した。

⑥ 国際協力
国際学術団体(IUPAC, ICTA, CODATA) およ
び各国熱測定学会との協力

国際協力担当

I U P A C : 菅 宏 (阪大理) IUPAC熱力学
および熱化学委員会委員

I C T A : 小沢丈夫 (ダイセル) ICTA評議
員

: 谷口雅男 (東工大) "Thermal
Analysis Abstracts" Regio-
nal Editor, 同上 Advisory Bo-
ard Member

CODATA : 山内 繁 (国立リハビリ研) 日本
コデータ協会役員

⑦ 熱測定振興会

日本熱測定学会の外郭団体であり、熱力学デー
タベース作業グループの開発したデータベースの普
及をはかり、その著作権料の管理を行うと共に、
必要に応じて、著作権料の範囲内において、学会
の活動を支援する(主として、学会の各種研究・
作業グループの会合のための旅費の補助を行う。)
詳細は熱測定振興会規約参照(事務局保管)。

2. 昭和62年度収支決算 (61.10.1 ~ 62.9.30)

科 目	決算額(円)	予算額(円)
収 入	8,539,534	6,865,000
(I) 会 費 収 入	3,419,000	3,460,000
正 会 員 会 費	2,139,000	2,160,000
維 持 会 員 会 費	1,280,000	1,300,000
(II) 事 業 収 入	5,062,720	3,355,000
会 誌 発 行 収 入	1,220,970	1,250,000
討 論 会 収 入	520,920	100,000
講 習 会 収 入	3,320,830	2,005,000
(III) 雑 収 入	57,784	50,000
支 出	6,950,240	6,810,000
(I) 事 業 費	3,858,310	4,010,000
会 誌 発 行 費	3,642,310	3,805,000
討 論 会 (23回)	50,000	50,000
講 習 会 (14, 15回)	50,000	50,000
研 究 グ ル ー プ	36,000	25,000
ワークショップ(3, 4回)	80,000	80,000
(II) 管 理 費	2,791,930	2,800,000
会 議 費	133,330	125,000
交 通 費	537,300	555,000
事 務 局 費	1,750,000	1,750,000
交 通 費	152,660	150,000

消 耗 品 費	162,790	160,000
雑 費	55,850	60,000
(III) 名簿発行準備金	300,000	0
差 引 残 高	1,589,264	55,000
前 期 繰 越 剰 余 金	2,124,541	
次 期 繰 越 剰 余 金	3,713,805	

現 金	53,438
普通預金	580,942
定期預金	3,012,040
振替貯金	67,385
合 計	3,713,805

熱測定特別基金 786,718

3. 昭和63年度役員 (○印新役員)

会 長	○矢 沢 彬 (東北大選研)
委 員	○石 田 秀 輝 (INAX)
	○泉 川 智 (千葉大薬)
	○市 川 和 彦 (北大理)
	稲 葉 章 (阪大理)
	占 部 美 子 (九大工)
	○小 川 英 生 (阪市大理)
	菊 地 昌 枝 (東北大金研)
	木 下 良 一 (セイコー電子)
	小 泉 喜 弘 (真空理工)
	○小 島 盛 昭 (藤倉電線)
	○坂 本 尚 史 (岡山理大)
	柴 田 淳 (理学電機)
	○滝 川 隆 代 (阪工大)
	田 中 春 彦 (広島大学校教育)
	○辻 澄 子 (衛生試)
	土 田 猛 (北大工)
	○長 田 慶 子 (三菱電機)
	中 西 浩 一 郎 (京大工)
	○中 山 春 夫 (横浜国大工)
	○奈 倉 正 宜 (信州大織)
	○西 成 勝 好 (食品総研)
	○布 村 和 子 (東大応微研)
	根 岸 明 (電総研)
	萩 原 清 市 (東京理工)
	○葉 山 忠 徳 (三井金属)
	増 田 芳 男 (新潟大教)
	丸 田 道 男 (島津)
	宮 本 欣 生 (阪大産研)
	○八 木 駿 郎 (九大理)
	山 田 武 範 (帝京大医)
	山 田 豊 章 (名工試)

- 吉 田 博 久 (都立大工)
 会計監査 中 西 正 城 (お茶大名誉教授)(再任)
 幹 事 市 原 祥 次 (三菱油化) - 企画
 上 平 初 穂 (織高研) - 庶務
 ○斎 藤 安 俊 (東工大工材研) - 庶務
 ○徂 徠 道 夫 (阪大理) - 企画
 ○高 橋 洋 一 (東大工) - 編集
 ○田 川 博 章 (横浜国大環境研) - 会計
 八 田 一 郎 (名大工) - 会計
 脇 原 将 孝 (東工大) - 企画

編集委員○(委員長)高 橋 洋 一 (東大工)

- 東 原 秀 和 (京大工)
 ○寺 井 隆 幸 (東大工)
 島 山 立 子 (織高研)(再任)
 ○馬 越 淳 (農生資研)
 ○松 井 恒 雄 (名大工)
 ○松 尾 隆 祐 (阪大理)
 ○横 川 晴 美 (化技研)
 (地域編集委員)
 ○高見沢 徹一郎 (九大工)
 ○坂 本 尚 史 (岡山理大)
 ○松 下 和 正 (長岡技科大)
 ○古 市 隆三郎 (北大工)
 ○寺 本 芳 彦 (セイコー電子)

4. 昭和63年度事業計画(62.10.1~63.9.30)

① 集会関係

- 1) 委員会1回(広島), 幹事会4回(広島1回, 東京3回), 役付幹事会2回(東京), 編集委員会5回(東京)
- 2) 熱測定応用研究グループ会合2回(広島1回, 東京1回), 熱力学データベース作業グループ会合2回(東京)
- 3) 第23回熱測定討論会(62.10.12~14, 広島)
 第24回熱測定討論会運営委員会1回(東京)
 (第24回熱測定討論会は東京地区で開催する予定)
- 4) 第14回通常総会(62.10.13, 広島)
- 5) 第16回熱測定講習会(63.7.14, 15, 京都)
- 6) 第5回熱測定ワークショップ(63.7.13, 京都)

② 共催・協賛関係

- 共催: 第31回粘土科学討論会(62.10.4~7, 愛媛大学)
 : 第28回高压討論会(62.11.4~6, 神戸)
 協賛: 第9回熱物性シンポジウム(63.9.末 or

63.11.初旬, 長岡)

: 先端材料の新潮流(62.11.24~26, 日本
 学術会議・日本化学会・材料連合フォーラム 主催, 日本学術会議講堂)

: Westrum教授の講演会(62.10.26, 東京)

③ 出版関係

- 1) 会誌「熱測定」の発行

(Vol. 14, No. 4~Vol. 15, No. 1~3)

- 2) 「熱測定の進歩」第5巻の発行と第6巻の編集
- 3) 会員名簿の発行(63.8.予定)

④ グループ活動

- 1) 熱測定応用研究グループ

名称を変更し, 主査およびグループ委員の交代

- 2) 熱力学データベース作業グループ

MAL Tの改訂作業の検討, 実施および分圧
 制御ソフトの開発

- 3) BCT情報収集作業グループ 前年度に準ずる

⑤ 国際協力 前年度に準ずる

5. 昭和63年度収支予算(62.10.1~63.9.30)

項 目	予 算(円)
収 入	6,850,000
(I) 会 費 収 入	3,630,000
正 会 員 会 費	2,250,000
維 持 会 員 会 費	1,380,000
(II) 事 業 収 入	3,160,000
会 誌 発 行 収 入	1,230,000
討 論 会 収 支 (23回)	320,000
講 習 会 収 入 (16回)	1,610,000
(III) 雑 収 入	60,000
支 出	7,231,000
(I) 事 業 費	4,000,000
会 誌 発 行 費	3,750,000
討 論 会 (24回)	50,000
講 習 会 (16回)	250,000
研 究 グ ル ー プ	35,000
ワークショップ(5回)	40,000
名 簿 作 成 費	100,000
(II) 管 理 費	3,231,000
会 議 費	165,000
交 通 費	778,000
事 務 局 費	1,800,000
通 信 費	180,000
消 耗 品 費	250,000
雑 費	58,000
差 引 残 高	△381,000